

「貨物輸送評価制度」の 27 年度評価事業者を決定しました。

運送事業者のCO₂削減の取組を実走行燃費により東京都が評価

都は、自動車からのCO₂削減を推進する仕組みとして、貨物運送事業者（緑・黒ナンバー事業者）のエコドライブ等の日常的な努力を実走行燃費で評価する「貨物輸送評価制度」を平成 24 年度から実施しています。

このたび、平成 27 年度に申請のあった事業者について審査を行い、評価事業者を決定しましたのでお知らせします。

1 平成 27 年度評価結果

3つ星 ☆☆☆	14社
2つ星 ☆☆	88社
1つ星 ☆	127社
合計	229社

(※ 昨年度より 37 社増加)



2 評価事業者

制度の概要、評価事業者の一覧については、別紙をご覧ください。

3 制度のねらい

- 貨物運送事業者の日常的なCO₂削減の努力を分かりやすく評価
- 貨物運送事業者が、受注機会拡大に向けCO₂削減の努力と実績をアピール
- 荷主による環境に配慮した貨物運送事業者の選択を促進し、一層のCO₂削減を目指す

「東京都長期ビジョン」

本件は、「東京都長期ビジョン」における、以下の都市戦略・政策指針に係る事業です。

都市戦略 7 「豊かな環境や充実したインフラを次世代に引き継ぐ都市の実現」

政策指針 20 スマートエネルギー都市の創造

問い合わせ先 環境局環境改善部自動車環境課
直通 03-5388-3497

制度の概要

(1) 評価事業対象者

営業地を問わず、都内に貨物を運送する貨物自動車運送事業者（緑・黒ナンバー事業者）が対象です。営業所単位でなく「会社全体」に対する評価を行います。

(2) 審査事項

- ① ドライバーへの教育訓練、指導体制構築の状況
エコドライブ実践のため継続的な教育訓練、指導等を行う体制を構築していること。
- ② 燃費管理の状況
車両ごとにドライバーが燃料補給時に走行距離と給油量を記録するとともに、運行管理者等により実走行燃費を管理していること。（事業者の全車両の前年度1年分の燃費記録が必要です。）
- ③ 燃費データベース構築の状況
取組内容の適時改善のため、燃費記録をデータベースで集計・分析していること。

(3) 評価方法・結果

- 東京都トラック協会の「グリーン・エコプロジェクト」で蓄積した月単位の燃費データ約42万件から車種・重量等により設定した52区分の平均燃費値（ベンチマーク）をもとに、事業者の個々の自動車の実走行燃費の偏差値を算出し、各事業者の全車両の平均偏差値で評価を行います。
（58.5以上：☆☆☆、52.6以上58.5未満：☆☆、52.6未満：☆）
- ※ なお、評価事業者は、日常的な燃費管理の状況などから評価しており、1つ星であってもCO₂削減の取組は優れたレベルにあるといえます。

(4) 評価ロゴマーク

- 27年度の申請者 230社（うち評価事業者 229社、評価対象外事業者 1社）
（評価対象外とした主な理由） ・車両1台ごとに正確な燃費管理が行われていない。

評価事業者は、2015年度の認証マークを車両等に表示することができます。